

2024 年度 第 51 回総会・第 50 回研究大会 案内

2024 年 6 月 29 日(土)～30 日(日)

北海道開拓の村 ビジターセンター(北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1)

主催:全日本博物館学会 共催:北海道開拓の村

6 月 29 日(土)

10:00～12:00 第 50 回研究大会・発表(発表 15 分・質疑応答 5 分)

1	高田浩二(海と博物館研究所) 地域の動物飼養や吊いを教材にした生物多様性教育の試み
2	金山喜昭(法政大学) 博物館法改正とコレクション管理をめぐる諸問題
3	寺農織苑(北海道大学大学院) 解説文を読ませる工夫:展示会図録における新たな博物館体験の在り方
4	阿部麟太郎(北海道大学大学院) 「第三世代博物館」とはなんだったのか:学会誌分析における 1990 年代設立博物館と伊藤寿朗
5	森 沙耶(北海道大学大学院) ハンズ・オン展示における家族間の博物館学習の観察:親から子への支援とプロセスに着目して
6	魏 雯君(北海道大学大学院) 博物館における展示利用者への認識の変化及び利用向上のための取り組みについて:都道府県立歴史系博物館の常設展示を対象として

12:00～13:00 休憩

12:00～13:00 2023 年度第 6 回・2024 年度第 1 回定例委員会(※役員のみ)

13:00～13:50 第 51 回総会

14:00～16:40 第 50 回研究大会・発表(発表 15 分・質疑応答 5 分)

7	島 絵里子(北海道大学大学院) 日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館の歩みをたどる:事例研究
8	佐藤優香(東京大学) 学校収蔵資料の活用と継承のための展示づくりワークショップ:「問いをつくる」ことを通じて深める鑑賞
9	木村 文(帯広畜産大学) ロックダウン時の小規模博物館における教育普及活動:リトアニア共和国ヴィリニュス市の事例
10	瀧端真理子(追手門学院大学) スコットランド国立博物館及びバーミンガム博物館トラストにおける寄附金募集関係求人情報の分析

11	戸田 孝(滋賀県立琵琶湖博物館) 総合博物館とは何か:理工系と自然史系の境界領域について考えるために
12	中林寿文(サイバーズ株式会社) オープンデータを活用した博物館データベースアプリ「Sugoroku.com」のこころみ
13	中村千恵(三重県総合博物館) 県立博物館での企業連携活動:三重県総合博物館 10年の歩み
14	坂倉真衣(宮崎国際大学) 展示物との初期の「出会い(encountering)」は、来館者の個人的文脈にどのように取り込まれていったのか:「個人化された博物館体験」を理解する試み

19:00～21:00 **情報交換会**(※会場未定・新札幌駅周辺を予定)

6月30日(日)

10:00～12:00 **第50回研究大会・発表**(発表 15分・質疑応答 5分)

15	井上 瞳(愛知学院大学) 20世紀初頭のボストン美術館における教育普及:ギルマンと岡倉天心の関わりから
16	大高 幸(放送大学) メディアとしての展示:今夏の『昭和初期の和服柄に宿る戦争』展について
17	武井二葉(明石市立文化博物館) 学校教育を支える放送教育と博物館教育:「むかしのくらし展」とNHK for School」
18	本間浩一(慶應義塾大学) 民俗資料のメタデータの現状調査:特に、家庭用ミシンを事例として
19	宮元正博(池田市立歴史民俗資料館) 民具を利用した子ども向けワークショップの事例
20	Virtualion 株式会社(佐藤 愛) デジタルアーカイブを活かす、バーチャル空間展示を用いた「メタミュージアム®」の実践

12:00～13:00 **休憩**

13:00～14:00 **第50回研究大会・ポスター発表**

A	*内田 登、*竹内健二、*蝦名慶樹、*坂倉瑤子、**大久保尚紀(*光ミュージアム、**日本大学) NFC(近距離無線通信技術)を用いた低コスト音声ガイドの内製化の勤め
B	奥本素子(北海道大学) 新カリキュラム「総合的探究の時間」を活用した博学連携の取り組み
C	五月女賢司(大阪国際大学) 「機能」から「役割」へと変化する博物館の意義
D	*佐藤優香、**伊永陽子、**横川公子(*東京大学、**武庫川女子大学附属総合ミュージアム) 近代学校博物館における「中古装束人形」の収蔵と展示

E	朱 麗梅(北海道大学大学院) 住民参加の自治体史編纂における地域博物館の役割
F	宇仁義和(東京農業大学) 「民俗資料」の区分けと資料名称:生産者数と製造数に注目して
G	江口佳穂(北海道大学大学院) コロナ禍のオンライン活動における成果と課題:おうちミュージアム参加館を対象として
H	*卓 彦伶、**宇仁義和(*北海道大学、**東京農業大学) 台湾の博物館法と専門職員の現状
I	*長谷川暢子、**横山佐紀(*国立西洋美術館、**中央大学) ろう学校を対象とした手話による対話型ギャラリートークの実践と課題
J	嶽本あゆみ(沖縄工業高等専門学校) ハンズオンを目的とした衝撃成形レプリカ標本の立体再現性評価

14:00～16:40 第50回研究大会・発表(発表15分・質疑応答5分)

21	佐藤 琴(山形大学) ナスカの地上絵を展示してみた:山形大学ナスカ研究所10周年展
22	松本朱実(社会構想大学院大学) 持続可能性に向けた博物館の活動と教育(ESD)の評価
23	西 源二郎 水族館の展示に関する研究:最近の展示傾向
24	大関絢子(神戸大学大学院) ロンドンの「マイグレーション・ミュージアム」の展示にみえる女性移住者像
25	大内須美子(留萌市海のふるさと館) 博物館におけるエンパワーメント評価
26	藤本将人(宮崎大学) 歴史系博物館における社会認識形成論と学社連携の方向性
27	鈴木悠希子 インターネット上で公開される博物館教育普及コンテンツ(OEMR)の学校現場における利活用を目的とした「おうちミュージアム参加館一覧」のユーザビリティ調査
28	笹木一義*、奥山英登*、シンウオンジ*、三木暁了*、佐藤優香**(*国立アイヌ民族博物館、**東京大学) 博物館来館者の、来館者像と展示メッセージ伝達の分析の試行:国立アイヌ民族博物館の来館者アンケートの自由回答分析より

後日配信(予定) 第50回研究大会・オンデマンド発表

29	永山可奈子(京都芸術大学大学院) 公立美術館におけるPFI導入に関する一考察
30	田川太一(長崎国際大学大学院) 医歯薬学系大学附属博物館に関する一考察
31	宗像晋路(早稲田大学大学院) 小学校団体の美術館利用への学校側における消極的要因:元教員の立場から
32	田中裕基(多摩六都科学館) 展示解説としてのSNSの活用について:2022年夏企画展「見てみるかい?おくぶかい!貝の世界」より
33	伊豆原月絵、奈良崎裕太、藤崎知輝(日本大学) 博物館のワークショップ参加者と保護者へのアンケート結果からみた博物館教育の現状
34	藤崎知輝、奈良崎裕太、伊豆原月絵(日本大学) ワークショップにおける映像解析を用いた教育の工夫と参加者の意識調査について
35	小館誓治*、八木 剛**、大平和弘*、辰村 絢**、河田麻美**、半田久美子** (*兵庫県立人と自然の博物館/兵庫県立大学、**兵庫県立人と自然の博物館) 自然系博物館における未就学児への環境学習の支援:「ひょうごエコロプロジェクト」におけるプログラム実施園の保護者に対するアンケート調査結果

*参加費

対面参加 一般会員(賛助会員は1名につき)1,000円 学生会員500円 非会員3,000円
 情報交換会 会費5,000円程度(会場はJR新札幌駅周辺を予定。詳細については当日ご連絡します)

※いずれも現地にてお支払いください

※学生会員の方は、現地にて学生証の掲示をお願いいたします

※対面参加者はオンデマンド配信もご視聴いただけます

オンデマンド視聴 一般会員(賛助会員は1名につき)3,000円 学生会員1,000円 非会員5,000円

※学会口座へお振込みください。支払期限:2024年7月1日(月)

※オンデマンド配信は大会終了後、準備ができ次第配信予定

※オンデマンド配信用URLの共有は禁止いたします

※学生会員の方は、事務局のメールアドレス宛に学生証画像をご提出ください

(振込先)

郵便振替 00170-4-26144(名義:全日本博物館学会)

銀行振込 三菱UFJ銀行 池袋支店 普通 1304291(名義:同上)

*お弁当

大会当日の昼食としてお弁当を希望される方は事前に予約を承ります。

お弁当代 1,000円(お茶代含む)/両日必要な方は2,000円 ※現地にてお支払いください

*お申し込み

下記フォームより申込みをお願いいたします。

正会員はこちら <https://forms.gle/seC3YZpU1mAtfKpJ9>

非会員はこちら <https://forms.gle/wdjnKkcJ2UgRGZBw9>

申込期限 情報交換会・お弁当を申込みされる方→2024年6月10日(月)
 総会・研究大会のみに申込みされる方→2024年6月17日(月)

*交通アクセス

JR千歳線「新札幌」駅下車／地下鉄東西線「新さっぽろ」駅下車(乗換)

新札幌バスターミナル北レーン10番乗場より JR北海道バス「開拓の村」行(約20分)終点下車

または森林公園駅前から「開拓の村」行終点下車いずれも運賃は210円です。

※なお、新札幌バスターミナル北レーン10番乗場から出る他の行先のバスの場合は「厚別東小学校前」で下車すると、徒歩20分ほどで開拓の村へ着きます。

※お帰りの際のバスも、開拓の村前からのほか、徒歩20分程度で「厚別東小学校前」のバス停があり、こちらから新札幌駅方面へのバスが多数運行されていますので、併せてご利用下さい。

*その他

大会参加者は、事前にお申込みいただいた方限定で、北海道開拓の村を無料で観覧いただけます。

大会会場にはネットワーク環境がありませんので、ご注意ください。

大会会場にはレストランがありますがコンビニ等はありませんので、ご注意ください。

ご持参いただいたお弁当や当日レストランで販売するお弁当(要事前予約)を食べるスペースを用意していますので、ご利用ください。